

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.28 神奈川県湘南支部
ミニこやぎの会

● あゆみ

平成2(1990)年、当時近隣に親の会がなかったため、こやぎの会(現JDS)の名簿から、藤沢・茅ヶ崎・鎌倉の方々に、「親がダウン症児のことを相談しあえる場を作りませんか?」と手紙を出したことがきっかけで、約10名の母親が集まり「ミニこやぎの会」が誕生しました(名称は「こやぎの会」に由来)。会報も手書きで作成しました。

当時は療育の場が少なかったため、東京までポーターズ発達相談を受けに行っていた方を通じて、日本ポーターズ協会の土橋先生の講演会を開催。まもなく会の活動の一つとして、ポーターズ発達相談が始まりました。親たち数人も相談員の資格を取り、今に至っています。同時に月1回の親の会の集まりも定例化し、会員数も増えました。

親や地域のつながりができ、大きな講演会も開催しました。

● 活動

《定例会》藤沢市の公民館で毎月1回、近況報告、情報交換や相談など行っています。
《親睦会・余暇活動》テニス(20年間継続、横浜ハンディテニス大会に出場)、ボーリング、カラオケ、茶道と和菓子作りなど。新年会「なんでも発表会」では本人のパフォーマンスに拍手喝采で盛り上がります。

《見学会》近隣の作業所、事業所、特例子会社、グループホーム等の見学。

《会報発行》年2回「ミニこやぎの会通信」発行。今秋には第66号を発行予定。

《ぶかぶか発達相談室(ポーターズ発達相談)との共催活動》様々な勉強会、恒例の公民館祭りに作品出展など。

● 支部長より



どのようにしたら会員のニーズに応えた活動ができるかを模索しています。子どもたちの経験を増やし、自信をつけさせてあげるための体験会、親亡き後の制度の勉強、JDSで紹介された本の読み合わせなど、地道な活動も大切ですし、それと同時に家族で楽しめる活動もして行きたいと思います。この秋にも、横浜市にある製菓製パン・園芸・陶芸を行う就労継続B型と生活介護の2事業所およびグループホーム、製品の販売店&カフェを見学予定。参加者一同で子どもたちの将来について話し合いたいです。

- ◆設立年度：1990(平成2)年5月
- ◆代表：松山 恵理子
- ◆支部会員：69家族および賛助会員5名
(うち支部会員は40家族)
- ◆ご本人年齢：4歳～41歳
- ◆対象地域：湘南地域(藤沢・茅ヶ崎・鎌倉・横浜・大和・平塚など)
- ◆連絡先：mnqkp787@yahoo.co.jp
(松山 恵理子)



お点前と和菓子作り体験会にて